

みんな

よくなれ

令和四年十二月八日発行

29回生通信
第11号

英語 朝の小テスト

「11」までの結果

四組担任（副主任） 吉峯 旬作 先生

朝の小テストが始まって約二カ月が経ちました。英語科は、これまでに6回、英単語の書き取りテストを実施してきました。10点満点で、8点以上が合格、7点以下が不合格です。今回は、全6回のうち第1、5回の結果を合格率と不合格率でお示しし、少しだけ分析を加えたいと思います。なお、再テストを含めて、全てのテストは同程度の難易度です。



第1回 合格27% 不合格73%

あらかじめ範囲を示し、模擬問題も提示していましたが、受験者147名中、不合格者が108名でした。結果が予想よりはるかに悪かったので、翌週から再テストを取り入れることにしました。

第2回 合格32% 不合格68% 再テ 合格56% 不合格44%

不合格者には再テストがありますよ、と伝えていましたが、結果にあまり大きな変化はありませんでした。ところが、再テストにおいては、受験者86名のうち48名が合格、38名が不合格でした。初めて合格率が不合格率を上回りました。よくがんばったなあ、と思う反面、できるなら最初からやつとこうよ、という気持ちも抱きました。

第3回 合格72% 不合格28% 再テ 合格76% 不合格24%

合格率が不合格率を大きく上回りました。再テストでも、受験者42名のうち32名が合格、不合格はわずか10名でした。この好成绩には理由があります。前週にこんなアナウンスをしていました。「再テストでも不合格だった人には面談を行います」と。何としても先生との面談はしたくない、という熱意(?)が伝わる結果でした。理由はともかく、やればできる、ということがよく分かる結果でした。

第4回 合格49% 不合格51% 再テ 合格84% 不合格16%

わずかだとはいえ、再び合格率が不合格率を下回りました。第3回を機に波に乗れるかな、と期待していたぶん、少し残念な思いがしました。ところが、再テストの合格率は過去最高をマークしています。

75名の受験者のうち、63名が合格、不合格は12名のみでした。多くの生徒が再テストで挽回してくれたなあ、と思う一方で、穿った見方をすれば、面談さえ避けることができれば一回目は不合格でもいいか...というような甘えが透けて見えなくもありません。(それほど忌み嫌われる「面談」ですが、実際には、叱りつけたりするわけではなく、一緒に打開策を考え、前向きな気持ちになれるように行っているつもりです。)

第5回 合格84% 不合格16% 再テ 合格82% 不合格18%

過去最高。みんなの努力が少しずつ形になってきた結果でした。以上、第1〜5回の結果から分かるのは、みんなの傾向として、

- ① 追い込まれたらやる。
- ② やったらできる。

ということですが、②については本当だと思えます。英語に関しては、みんなは人並み以上の力を持っています。だから、自分はダメなんだ...と思う必要はありません。語学は、やれば必ずできるようになります。だってみんな日本語を自由自在に操っている。世の中には、頭が良い/悪いという言い方がありますが、英語の学習にIQの高さは関係ありません。やろうと思えば誰でも、必ず、できるようになる。これが語学の魅力であり醍醐味です。ただし、残念ながら、飲み込みの早い/遅いはありません。同じことをしても自分は周りの人より遅い、ということはあるのです。でも諦めないでほしい。人より時間がかかるなら、人より早く始める。人より勉強量が必要なら、勉強量なら誰にも負けないぞと思えるほど、勉強しよう。やれば絶対にできるようになるから。語学にムダな努力はないから。

問題は①です。みんなは何のために勉強していますか？先生や家の人に怒られたくないから？悪い成績を取ると恥ずかしいから？どちらも間違いだとは言えないですが、少し視野が狭いような気がします。みんなの先輩である三年生は、今、国公立や私立の推薦入試、県大の特別推薦入試の真ただ中であって、必死に勉強しています。この二カ月後には大学入学共通テスト、私立の一般入試、国公立の二次試験、と続いていきます。この姿が二年後のみんなの姿です。

「二年もある」と思う人は、よく考えてください。偉そうに言うつもりはないですが、かつて大学受験を経験した者として切実に思うのは、入試の可否は、入試当日のがんばりで決まるのではない、ということですね。仮に、二年後の今日に入試があるとすると、入試まであと730日です。入試当日だけががんばる、というのは1/730ががんばると言うのに過ぎません。合格を決めるのは、むしろ、残りの729/730の結果を決めます。入試当日にはすでに勝敗は決まっているということです。

一回の小テスト、一つの単語、一回の練習が、実は入試の成否に繋がっています。小さな努力が小さな結果となり、小さな結果の積み重ねが二年後に大きな結果として返ってきます。そのため、小テストをうまく利用してください。あー、サボってしまったって、という人もまだまだ大丈夫。まだまだこれからなので、みんなで協力して乗り越えていこう。



朝の小テストの勉強法

十月の第三回定期考査後から、朝の小テストが英教国の三教科で始まりました。実施日は英語が火曜日、国語が木曜日、数学が金曜日です。英語の小テストについては、巻頭の吉峯先生の文章に、合格率などの推移が書かれています。なかなか合格が難しい試験のようですが、第一回から五回までの英語の小テストで、ずつと満点を取っている人がいます。わずか四人だけです。その人たちに勉強方法などを寄稿してもらいました。



私のやり方

一組 小林 千紘 さん

私の勉強方法は、数日前から英単語集をちらちら見始めます。月曜日には、全く書けなくても、とりあえず単語を見ながら書きます。何周かしたら、隠して書いてみます。その時に書けなかったものに印をつけて、書けなかったものだけひたすら書きます。そろそろ書けるようになったなと思ったら、もう一度全体を通して書いていきます。これを繰り返します。

私の勉強法

四組 相原 美南 さん

私は、毎回前日になって勉強を始めます。勉強時間は、テスト範囲の単語を一周してから間違えた単語をもう一度やり直すので、最低一時間半はかかっています。勉強内容としては、「一ページ色がついている単語を空白にした文章をまるごと、いろいろな紙に写して全部写せたら自力で解く」、つまり覚えながら紙に写しているという感じです。そして、朝学校に来て、自分が間違えた単語をさらにもう一度やり直してテストに挑みます。

私の勉強方法

五組 長谷川 万琴 さん

私はもともと英単語を覚えるのが苦手なので、この小テストが始まったときに、これをきっかけにして単語の勉強を頑張りたいと思いました。私は机に向かって単語の勉強をするのは大変だと思ったので、通学中のバスや、その待ち時間に単語帳を開くようにしています。その時に、自分が書くことができないう単語や間違えそうな単語だけをチェックし、家に帰ってから書いて勉強すると、あまり時間をかけずに効率よく勉強できると思います。

ラクに暗記したい

五組 春國 凜 さん

私は初っ端の小テストで、なんとか満点を取ることができたので、これからは絶対満点を取ろう！という思いで、毎回勉強しました。でも、五十単語を一気に覚えるのは、精神的に少ししんどかったので、時間がある時に、小テストの範囲に一通り目を通し、前日に知らない単語や分からない単語を覚え直しました。私はいつも寝る一時間ほど前に、寝転んで声に出したり、指で文字を書いたりして、自分が納得するまで、目が閉じない限り覚え直しました(笑)。



人権ホームルーム

十一月二日（水）の三時間目に、全クラスで人権ホームルームを行いました。

県教育委員会人権教育課の訪問指導があり、一年二組のホームルームは研究授業となりました。内容は、人権担当の田中亜弥先生が中心となって準備された「ダイアモンドランキング」でした。項目は、家族、健康、趣味、お金、夢・目標、友人、挑戦すること、自ら決断すること、知識の豊富さの九つで、

それぞれ項目は、色の違う紙に印刷されています。それを五つの階層に並べるといって作業を各自で行いました。最上位と最下位にはそれぞれ一つ。真ん中には三つ。その間には二つずつ並べて貼り付けました。並べ終わると、その形が、ダイアモンドの形に見えることから「ダイアモンドランキング」と呼ばれています。

この活動は、自己の価値観を見つめ、自分の個性を再認識するとともに、班を編成して話し合うことで、人それぞれ異なる価値観や考え方があること気づき、多様性を尊重する態度を身につけることを目標としていました。また、HRの後半には、マイナスに感じる言葉をプラスの言葉に置き換える「リフレミネング」も行いました。HRを終えて、29 回生の感想と、29 回生が考えたリフレミネングを少し紹介します。



「自分が生きる上で大切だと思うこと」をランキング付けし、班で共有することで自分の価値観や、友達との違いに目を向けて、新たな考え方を発見できたように思います。また、後半ではマイナスに感じる言葉をさまざまな視点から、プラスの言葉で表現する「リフレミネング」を行いました。一人ではなかなか書き換えが進まない様子でしたが、グループで話し合うと思いがけない発想の転換が飛び出しました。何事も考え方ひとつ！広い視野で物事を見つめ、様々な価値観に触れながら、学校生活をより充実したものにしていくことを願っています。

自分を振り返ると
ランキング付けすることで、自分がどのように考えているのかを今一度考えることができた。今の自分はどのようなことに価値を感じていて、どう行動していけばいいか考えていきたいと思った。また、自分は短所やマイナス面などを深く気にしてしまふことがあるため、もっと自己肯定感を上げながら今後を生かしていきたい。今後、自分はどんな価値観や感情を抱えているか考えることで、どんな進路に進むのかなど考える幅を広げながら、本当に進みたい道を進められるように、自分と向き合って生活していきたい。

二組 木山 翼 さん
まず自分を見つめてみて、面白く生きたいんだなと思いました。自分でもあまり気付かなかったけど、大人になって上の人から指示されたことを何の感情もなくするだけじゃなくて、もっと自分の考えや想像したことを使って、いろんなことに挑戦したいということに気付く授業になりました。そこで多くの違った個性と出会って刺激を受け、自分も他人も変わっていききたいと思いました。だから、このクラスや学校の人たちを大切にしていきたいです。



自分を再認識
今回の授業は自分について考えるいい機会になりました。ダイアモンドランキングは、人によって結果が様々で、面白かったです。自分の将来や、未来について考えている人が多くて驚きました。次に、リフレミネングでは自分や他人のいい所を探すきっかけになりました。自分の短所だと思っているところをいい風に言ってみると、嬉しい気持ちになりました。みんなが楽しく生活するためにも、リフレミネングはとても役に立つと思いました。最後に、私たち自身が自分を価値のある人であると認識して、自尊心や自己肯定感を高めることが大切であると学びました。これからの学校生活も、このようなことを意識しながら過ごしていこうと思います。

自分を振り返ると
ランキング付けすることで、自分がどのように考えているのかを今一度考えることができた。今の自分はどのようなことに価値を感じていて、どう行動していけばいいか考えていきたいと思った。また、自分は短所やマイナス面などを深く気にしてしまふことがあるため、もっと自己肯定感を上げながら今後を生かしていきたい。今後、自分はどんな価値観や感情を抱えているか考えることで、どんな進路に進むのかなど考える幅を広げながら、本当に進みたい道を進められるように、自分と向き合って生活していきたい。

- ・ 集中力が足りない → ↓ さまざまなことに興味があがる
- ・ 周りが見えていない → ↓ 集中力があがる
- ・ 周りに流されやすい → ↓ 協調性がある
- ・ 周りの目を気にする → ↓ よく気がつく
- ・ だらけやすい → ↓ 息抜き上手
- ・ 後のことを考えない → ↓ 今を精一杯楽しむ
- ・ あきらめやすい → ↓ 自己肯定感が強い
- ・ なんでも先延ばし → ↓ 無理をしない
- ・ 現状維持を望んでいる → ↓ 今が幸せである

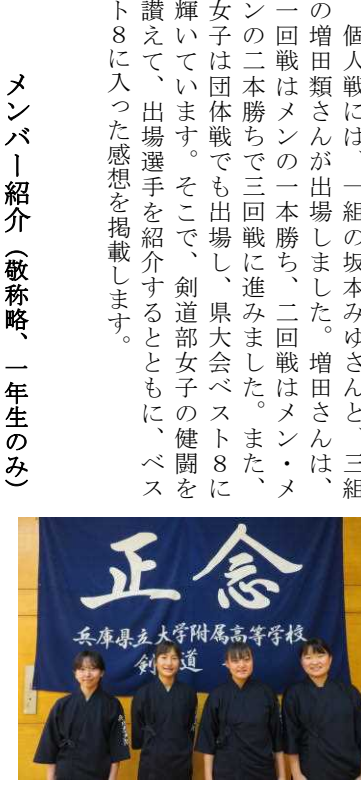


二組 黒田 麻友 さん
今回の授業で、自分を見つめることの難しさや大切さを感じました。これから進路選択などの大事な選択をするときには、周りに流されて決めてしまふのではなく、自分はどうか考えて行動したいと思えます。自分を見つめることで、自分はこう思っていたんだなと新たな発見ができ、私自身もまだ自分のことをよくわかっていないのだと感じました。また、普段の生活でもリフレミネングを取り入れ、ポジティブな気持ちでいることが大切です。

三組 黒田 麻友 さん
今回の授業で、自分を見つめることの難しさや大切さを感じました。これから進路選択などの大事な選択をするときには、周りに流されて決めてしまふのではなく、自分はどうか考えて行動したいと思えます。自分を見つめることで、自分はこう思っていたんだなと新たな発見ができ、私自身もまだ自分のことをよくわかっていないのだと感じました。また、普段の生活でもリフレミネングを取り入れ、ポジティブな気持ちでいることが大切です。

29 回生の活躍 県大会ベスト 8

十一月四日（金）から六日（日）までの間、高砂市総合体育館で第 9 回兵庫県高等学校剣道大会が開催されました。個人戦には、一組の坂本みゆさんと、三組の増田類さんが出場しました。増田さんは、一回戦はメンの一本勝ち、二回戦はメン・メンの二本勝ちで三回戦に進みました。また、女子は団体戦でも出場し、県大会ベスト 8 に輝いています。そこで、剣道部女子の健闘を讃えて、出場選手を紹介するとともに、ベスト 8 に入った感想を掲載します。



メンバー紹介（敬称略、一年生のみ）
先鋒 岸本結月 次鋒 春國凜 中堅 坂本みゆ 副将 二年大将 二年 控え 日野成美 マネージャー 浦川凜奈 駿河舞

県大会戦歴
初戦 附属 2 - 1 長田 二回戦 附属 3 - 2 三田祥雲館
三回戦 附属 3 - 0 東播工業 四回戦 附属 0 - 5 甲子園

知らぬ間のベスト 8！
全部活の中で、一番仲がいいと噂されている私たち女子剣道部。この仲の良さを活かし、なんと！県大会団体ベスト 8 という優秀すぎる成績を残すことができました。こんなにいい成績残せる部活。皆さんどう思われますか？素直に褒めてくださりますよね？

ここからは試合状況をお伝えします。私たちの目標は「優勝候補との対戦」でした。試合前のアップで、気合度MAX。いざ出陣！第一試合。あれ？やばいやばい。みんな緊張MAX。ガチガチ。ふう。なんとか勝った。第二試合。ここが山場。相手はシード校。一試合目の反省を活かし、いざ！よし、勝った！。第三試合。調子が上がってきたぞ！また勝った！ベスト 8 決定。だが、みんな必ず死すぞと気づかず…。第四試合。相手は優勝候補。この時点で、目標達成！う、う、う、さすがに強い。惨敗（涙）。でも、試合後、先生からベスト 8 だと伝えられ、涙が笑顔に！みんな大喜び。泣き笑いありあり。最高の大会でした。

12月以降の行事予定（1年生関連）

12月	9日（金）	第4回定期考査初日
	15日（木）	考査最終日 寮大掃除
	16日（金）	生徒休業日
	21日（水）	薬物乱用防止講演会 午前中授業、三者面談 ～23日まで
	25日（日）	冬季休業開始 ～1/9まで
1月	6日（金）	C S 選抜試験
	9日（月）	成人の日
	10日（火）	課題考査
	12日（木）	寮生集会（1・2年生）
	14日（土）	大学入学共通テスト～15日
	16日（月）	寮生を送る会
	17日（火）	第4回高大連携授業
	21日（土）	進研実力試験
	22日（日）	全統模試（校外・希望者）
	26日（木）	入試会場準備 16時完全下校
	27日（金）	生徒登校禁止
	28日（土）	附属中学入試 生徒登校禁止